

平成 27 年度 議会運営委員会視察研修報告書

視察地:埼玉県

視察先:新座市議会、飯能市議会

実施日:平成 27 年 8 月 18 日(火)~8 月 19 日(水)

経 費:534,110 円(公費)

【視察目的】

- 1 新座市議会における「市議会のインターネット中継」について
- 2 飯能市議会における「ペーパーレス・タブレット端末導入事業」について

【新座市議会視察結果】

(1)新座市議会におけるインターネット中継の取り組み概要について

新座市議会では、議会運営の改善に関する取り組みの一つとして、「市民に開かれた議会」を目指しています。

議会からの情報発信、情報公開を積極的に行うため、インターネットを通じて、広く市民に新座市議会の本会議の映像配信を行うことになり、平成 25 年第 3 回定例会から、本会議の様子をインターネットで配信を行っています。

(2)新座市民の利用について

- ① 生中継及び録画配信の映像内容は、新座市議会の公式記録ではないこと。
- ② 録画配信は、概ね生中継終了後 3 日程度(土・日・祝日を除く)でご覧になれること。
- ③ 映像配信を多数の方が同時にご覧になった際、映像が正しく表示されないこと。
- ④ 当サイトに掲載されているコンテンツ(文字、写真、映像等)は、著作権の対象となり、許可なく複製、転載を行うことは禁止。

等の利用上の注意がなされています。

(3)質疑応答

① 導入目的(背景)は？

▶平成 24 年に議会事務局で、全国の導入状況や先進事例、運用形態など調査したところ、全国や埼玉県内で半数近くの自治体が導入している状況が分かり、また、運用経費も年間 200 万円程度となったことから、議会運営委員会で導入に向けて協議を行い、全会一致で賛成が得られ導入が決定しました。

② 導入時期は？

▶平成 25 年 3 月定例会からインターネット中継を開始しました。

③ 導入に係る概算経費、財源内訳は？

▶賃貸借期間 5 年間で月額 4 万 2 千円、年額 50 万 4 千円、5 年間合計 252 万円で、財源は全て一般財源です。

④ 委託又は直営等の運営方法は？

▶単年度契約による「インターネット映像配信業務委託」です。

⑤ 生中継の放送範囲(本会議、全協、議運、委員会等)は？

▶現在は、本会議だけです。

⑥ 録画配信終了までの期間は？

▶「新座市議会インターネット中継における運用事項」の規程により 1 年としています。

⑦ 市民の活用状況は？

▶インターネット中継のアクセスの実績は、運用開始当初の平成25年3月定例会では、一般市民1587人、直近の平成27年第2回定例会では361人で、平成25年から27年まで全11回の本会議合計で6,172人1回当たりの平均視聴者数は67人という結果になっています。

▶インターネット録画配信のアクセス実績は、平成25年9月から27年7月までの間で、パソコンによるアクセスが合計4,362人、スマートフォンによるアクセスが1,915人という結果になっています。

⑧ 導入の効果(市民、議員、議会事務局、理事者、行政職員等)は？

▶議会に興味がある市民にとっては、インターネットが通じる環境が整っていれば、いつでも、どこでも議会中継を見ることができ、より関心をもっていただく様になったのではないかと考えられます。

▶議員、職員にとっては、議事録の作成を待たずに発言内容等の確認ができる様になりました。また、議員にとって、自らの発言等が全世界に配信されているという意識の向上につながったのではないかと考えられます。

⑨ 導入時及び今後における課題等は？

▶ライブ放送は、一挙手一投足が配信されるので注意が必要。

▶ライブ放送は、個人情報(名前・住所)の発言に注意が必要。

▶ライブ放送は、議員の態度、行動に注意が必要。

▶平均視聴者数が減少傾向にあるので、広報・宣伝が必要。

との回答でありました。

【飯能市議会視察結果】

(1)飯能市議会における「ペーパーレス・タブレット端末導入」の取り組み概要について

飯能市は環境にやさしい取り組みを目指し、

① 電気の使用量の削減

② ごみ排出量の削減

③ 紙使用量の削減

に取り組んで参りました。その紙使用量の削減の一環として、ペーパーレス化そしてタブレット端末の導入を行って参りました。

タブレット端末を導入することにより、

① 議会事務局からの緊急メールの配信

② 他自治体の先進施策の検索や調査

③ 議会事務局からの各種資料の閲覧(現時点では議案関係、常任・特別委員会資料以外)に使用しております。

端末機導入にあたり全議員の承認をどのように取り付けたのか？比較的高齢議員は導入を抵抗したのではないかと等については、回答として「導入するしかない、考える余地はない」と全議員が考えていたようで、導入に否定的な議員はいなかったとの事です。

(2)質疑応答

① 導入の目的は？

▶情報通信技術(ICT)活用による議会改革の推進のため。

・全員協議会ペーパーレス化(LAN)

- ・議会内の情報伝達(メール)
- ・危機管理上の緊急連絡(メール)
- ・政務調査活動(インターネット)
- ・各種資料の閲覧(LAN)

でありました。

② 導入時期は？

▶平成 23 年度からとのことです。

③ 導入に係る概算経費、財源内訳は？

▶導入経費は、初期費用としてネットワーク構築や消耗品などで約 217 万円、維持費用として通信費、セキュリティソフトなど約 174 万円など。また、一台あたりの通信料は年額 68,000 円で、内訳として公費が4/6約 45,300 円、政務調査費1/6約 11,300 円、自己負担1/6約 11,300 円、端末機器の購入費用はメーカーキャンペーン期間であったため、実質負担は0円だったそうです。自己負担が発生している要因は、あえて私用で端末を使用することを許可しており、そのことにより端末操作になれるとの意味合いがあるそうです。

④ 活用状況は？

▶本会議、全協、議運、各常任委員会、特別委員会、代表者会議、IT 会議、各種連絡調整、災害対策支援本部において活用しているとの事です。

⑤ 導入の効果は？

- ▶全協資料、本会議会議録冊子等の廃止で、年間約 210 万円の費用削減
- ▶全協資料、本会議会議録冊子等の廃止で、年間約 10 万枚のペーパー削減
- ▶環境負荷低減、経費節減、事務改善、情報伝達の迅速化、政務調査活動の充実、危機管理対応の向上等の効果があるとの事です。

⑥ 導入時及び今後における課題等は？

▶ペーパーレス化対象会議の拡大、タブレット機能・アプリソフトの有効利用等利活用の推進や、高機能・効率的なシステムの見直し等がある。

との回答でありました。

【視察効果及び西予市での応用】

今後、西予市議会における議会改革の中で、議会からの情報発信、情報公開を積極的に行うための「インターネット配信」、議会運営においてペーパーレスにより経費削減や環境にやさしい取り組みに繋がる「タブレット端末機の導入」等を積極的に提案していきたいと考えております。

以上、行政視察報告といたします。

平成 27 年 9 月 18 日

議会運営委員会

委員長 山本 昭義

平成 27 年度 議会運営委員会視察研修【写真資料】

新座市役所庁舎



飯能市役所庁舎



新座市議会会議室にて



飯能市議会会議室にて



新座市議会会議室にて(研修の様子)



飯能市議会会議室にて(研修の様子)



新座市議会議場にて



飯能市議会議場にて

